

最高評価・ゴールド獲得4回目

継続的な性的少数者支援でPRIDE指標

性的少数者に関する優れた取り組みをした企業や団体を評価する「PRIDE指標2021」の結果が11月11日に発表され、筑波大が最高評価のゴールドを受賞した。2年連続4回目となる。ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター(DACCセンター)の河野穂之助教(入間系)は「指標の評価基準は年々厳しくなっている。性的少数者への理解を深める講義や教職員向け研修会、展示会の企画など、継続的な取り組みが評価された」と語った。

性の多様性

SOGI/LGBT+

PRIDE指標は、性的少数者が働きやすい職場環境作りを評価するものだ。任意団体「work with pride」が



1月には性的少数者の肖像写真を展示するイベントが筑波大附属図書館で実施された。河野助教提供

2016年に策定した。▽行動宣言▽当事者コミュニティ▽普及啓発▽人事制度・プログラム▽社会貢献・渉外活動の5項目を満たし、5点満点だった。

今年度は、昨年の1.3倍に上る300の企業や団体、大学などから応募があった。11日の結果発表では、237団体がゴールド、40団体がシルバー、21団体がブロンズを受賞した。応募企業のうち83%が大企業で、中小企業は17%。この比率は過去4年間ほぼ

変わらない。結果発表で同会を務めたNPO法人グッド・エイジング・エールズの松中権代表は「日本企業の大半は中小企業と言われる。多くの中小企業がこの指標を知ってもらい、全国に活動を広げたい」と話していた。

また今年度から新部門の「レインボー認定」が設立され、応募した41社のうち10社が認定を受けた。性的少数者に関する自社外への働きかけが評価された。アスリートと共に多様性に関する情報を発信した会計・コンサルティング会社のEY Japanや、全国の自治体と連携して取り組みを進めた三井住友信託銀行などが選ばれた。

レインボー認定の評価委員を務めた河野助教は「性的少数者を巡る文脈にあまり登場してこなかった組織をも巻き込んだ活動が印象的だった。社会により深い影響を与えられると期待している」と話した。

学内にゴールドポスト設置

東京五輪柔道金 永瀬選手を顕彰

東京五輪男子柔道81kg級で金メダルを獲得した永瀬貴規選手(旭化成・平成27年度体育専門学群卒)の栄光をたたえる「ゴールドポスト」が11月18日、筑波大学内郵便局前に設置された。筑波大を練習拠点とする本人が学内への設置を希望した。同日の除幕式で永瀬選手は「設置は光栄で、金メダルの実感が湧いてくる。これからもポストを見て刺激をもらい、柔道家として成長したい」と話した。



金メダルを胸に満面の笑みを見せる永瀬選手(11月18日、筑波大学内郵便局前で)

東京五輪・パラリンピックで金メダルを獲得した選手ゆかりの地に金色の郵便ポストを設置する「ゴールドポストプロジェクト」の一環。内閣官房と日本郵便によるプロジェクトで、全国で12番目、県内では初の設置となった。

金色に塗られたポストに、永瀬選手の名前や出身地、種目が日本語と英語で記されたプレートが取り付けられている。除幕式で永瀬選手は、金メダルを首にかけて登場。永田恭介学長や駒崎真史・筑波学園郵便局長らも出席した。駒崎局長は、「永瀬選手の活躍を後世に伝えるレガシー(遺産)となるだろう」と話した。

3回目接種開始

つくば市は年内に4千人を予定

新型コロナウイルスワクチンの3回目の接種が12月1日、全国で始まった。つくば市では月内に医療従事者4000人が接種を受ける予定だ。

今回の接種は原則、2回目のワクチン接種から8カ月以上経過した人が対象になる。先行して1、2回目の接種が進んだ医療従事者から始まり、順次、高齢者などに対象が拡大される。対象者は、自治体から接種券が届けられる。つくば市は1、2回目の接種と同様に、市内の医療従事者向けワクチン接種は、医療機関の申告数に従って市が配分する。医療従事者の多くは、勤務先の医療機関でワクチン接種を受けることになっている。

筑波大医学類の4、5年生と看護学類の2、4年生は1、2回目の接種と同様に、市内の医療従事者向けワクチン接種を受けることになっている。

水素燃料電池バスでPCR検査

筑波大が実証実験 3月まで

筑波大は10月から、水素燃料電池バスを使った大規模PCR検査の実証実験を始めた。自然災害の被災地に駆けつけ、感染症対策を強化する体制の整備につなげる狙いがある。内閣府戦略的イノベーション創出プログラム(SIP)の一環で、実証実験は来年3月までを予定している。

実験に使われているのは、機能や通信機能を備える。トヨタの水素燃料電池バス「SORA」を改良した車。PCR検査を迅速に行えるよう、核酸抽出機などの全自動機器を搭載している。バスは1日2000人以上の検査ができ、発電も適しているという。



採取した検体の受け付けの時間は39分23秒だった。採取した検体の受け付けの時間は39分23秒だった。

来年2〜3月には、1万人規模のイベント会場にバスを派遣して関係者の検査を行うなど、実際の使用を想定した実験を行う。

研究責任者の鈴木広道教授(医学医療系)はこのシステムを使えば、避難所などでも高い精度の検査を迅速に行うことができる。実証実験で分かった課題を解決し、社会実装につなげていきたい」と話した。

DXの推進巡り

DXの推進巡り

第20回大学改革シンポジウム「DX新時代における大学の在り方について」(国立大学協会主催)が11月1日、オンライン開催された。授業のオンライン化やテレワークが進むなか、コロナ禍で社会のDX(デジタルトランスフォーメーション)が加速している。国立大学の教職員や学生ら約370人が参加し、大学はDXとどう向き合うべきかについて意見交換した。

基調講演は、坂村健・東洋大情報連携学部長。2017年に新設された同学部のDX推進を旨とした取り組みを紹介した。



DX活用についてオンラインで議論した。国立大学協会提供

坂村学部長は、「デジタルを駆使して新しいことに取り組み、組織の在り方をも変える構造改革がDXだ。DX推進により、大学はより柔軟な組織に変わることができると語った。続くパネルディスカッションでは、これに対し、坂村学部長は「各大学が連携し、オンライン教育システムなどのプラットフォームを共同開発する必要があり」と語った。

広告掲載欄

(紙面のみでの掲載となります)

広告のお問い合わせは

電話 029 - 853 - 6699

Eメール shinbun@un.tsukuba.ac.jp

(筑波大学新聞へのご意見・お問い合わせも)

上記までお願いいたします)

担当者に聞く 筑波大SNS運用の工夫と今後



コロナ禍で存在感を増しているのが、時間や場所を問わず、幅広い対象者に情報伝達ができるSNS(ネット交流サービス)だ。筑波大でも昨年、公式ツイッターの運用が始まるなど、さまざまな部門で多様なSNSの活用が進む。情報を的確に届けるには、多様化するSNSの特性を生かした使い分けが必要とされる。筑波大のSNS運用担当者(取材)に、その工夫や効果、今後の課題を聞いた。(及川千翔II文学類、北川瑠菜II比較文化学類、東谷郁美II社会学類、大和祐菜II障書科学類、中山友萌香II生物学類)

英語でも世界に同時発信

広報室

筑波大の公式SNSが、広報室が運用するSNSの順となっている。ユーザー5900人、ツイッター4480人の順となっている。フェイスブックに匹敵するフォロワーがいるリンクトゥーンは、ビジネス特化型のSNSだ。筑波大のフォロワーは留学生が多いという。利用者が筑波大に在籍していた履歴をリンクトゥーンにアップすると、自動的に筑波大のアカウントのフォロワーになる仕組みになっている。海外への情報発信につながっている。

SNSの内容は、大学のウェブサイトやイベント情報、研究成果やイベント情報を中心とした。広報戦略室長の山科直子教授は「筑波大のウェブサイトは日常的にアクセスしていない人にも情報を届けたい」と話す。

ただ、写真が中心のインスタグラムは筑波大に関心をもち中高生をターゲットに定め、キャンパスの風景などを積極的に発信している。最近「色づいたイチョウが懐かしい」など、卒業生からの反響も大きい。

事業開発推進室

事業開発推進室は2019年10月、ツイッターアカウント「TSUKUBA FUTUR ESHIP」を開設した。フォロワー数は現在3046人だが、筑波大卒業生をターゲットに数を増やそうとしている。同室の担当者は「投稿を通して卒業生と在学生が交流する様子を見られてうれしい。卒業生や在学生が大学の思い出などをテーマにリレーメッセージをする企画を構想中で、関係者に面白いと思うものを投稿を続けていきたい」と話す。

2019年10月、ツイッターアカウント「TSUKUBA FUTUR ESHIP」を開設した。フォロワー数は現在3046人だが、筑波大卒業生をターゲットに数を増やそうとしている。同室の担当者は「投稿を通して卒業生と在学生が交流する様子を見られてうれしい。卒業生や在学生が大学の思い出などをテーマにリレーメッセージをする企画を構想中で、関係者に面白いと思うものを投稿を続けていきたい」と話す。

スポーツの魅力は動画で



44万回近く再生されているADのトレーニング動画

このコミュニケーション手段の一つとして複数のSNSを活用している。登録者数が1.63万人と最も多いのがYouTubeチャンネルだ。

ADのSNS担当でもある米原さんは「ターゲットを意識し、SNSの種類によって投稿する内容や雰囲気を変えている。動画は選手を身近に感じられ、興味を持って応援してもらえるきっかけになる」と語る。

附属図書館

筑波大附属図書館は2009年にYouTubeチャンネル

2009年から活用

附属図書館は2009年にYouTubeチャンネルを開発した。職員は「自らが、瞬発力アップに効果的なトレーニングを実演した。YouTubeチャンネルでは、硬式野球部や女子バレー部などADのモデルチームとして先進的な取り組みを行う運動部の活動なども紹介されている。

発信は届いているか

筑波大の関係者はSNSをさまざまな活用している。ことが分かったが、その意図が受け手に届いているかどうか。筑波大を志望する高校生や、在学生、卒業生に聞いた。

【男子高校生・つくば市在住】筑波大進学を考えており、公式インスタグラムを週に1〜2回チェックしている。学内の風景を映した画像からキャンパスの雰囲気を知り、志望する気持ちが高まっている。

【30代女性・新潟県在住】筑波大のインスタグラムで、嘉納治五郎氏の銅像の存在を知った。在学中には設置されていなかったため驚いた。コロナ禍でなかなか母校を訪れる機会がない

【比4年・女性】普段ツイッターを主に利用する。筑波大に関するさまざまな情報や学生の活動を知るため、附属図書館や事業開発推進室などをフォローしている。

特にADの公式キャラクター「ゴズミン」のアカウントでは、部活動の成績、筑波大の選手の活躍を知ることができる。気軽に情報を入手できるSNSは便利だ。



池田潤副学長

大学の広報は在学生や職員だけでなく、高校生や海外に住む学生や研究者、企業などさまざまな相手にメッセージを届けなければならぬ。だが、SNSには長期的な戦略を立てることが難しい。投稿に対して「いいね」やコメントで反応を示すことができた。チャット機能など双方向のやり取りができた。SNSの特徴である。大事な情報が埋もれてしまっている。教職員は学生に与える情報を減らす、学生は必要な情報を自ら取りに行く習慣を付けるなど、相互で工夫している。

池田潤副学長に聞く

大学の広報は在学生や職員だけでなく、高校生や海外に住む学生や研究者、企業などさまざまな相手にメッセージを届けなければならぬ。だが、SNSには長期的な戦略を立てることが難しい。投稿に対して「いいね」やコメントで反応を示すことができた。チャット機能など双方向のやり取りができた。SNSの特徴である。大事な情報が埋もれてしまっている。教職員は学生に与える情報を減らす、学生は必要な情報を自ら取りに行く習慣を付けるなど、相互で工夫している。

指定国立大学法人の公式主要SNSフォロワー数(人)

	ツイッター	フェイスブック	インスタグラム	ユーチューブ
筑波大学	5,900	21,024	10,000	4,480
東京大学	62,126	36,909	412	18,700
東北大学	20,766	12,945	4,551	11,600
京都大学	40,248	27,666	12,000	4,500
東京工業大学	17,624	10,468	—	6,010
名古屋大学	12,883	11,340	—	1,340
大阪大学	33,588	17,861	21,000	8,460
一橋大学	9,148	8,967	—	4,300
東京医科歯科大学	1,454	3,315	1,276	749
九州大学	12,740	13,235	—	8,550

(数値は12月9日時点。インスタグラムとユーチューブについてはフォロワー数が1万人を超える場合、概数で表記。筑波大学新聞調べ)

他大学の運用状況は

近畿大学

近畿大は、ブランド化した「近大マクロ」など大学のイメージを生かしたユニークな投稿で、多くのフォロワーを獲得している。だが、同大広報室の担当者は「東京大などに比べブランド力がなく、フォロワー拡大には地道な努力が欠かせない」と話す。

同大の公式SNSはツイッター(フォロワー数4万7187人)▽フェイスブック(5546人)▽インスタグラム(1.4万人)▽LINE(6万9231人)▽ティックトーク(931人)▽YouTube(5.37万人)の計六つ。特に力を入れているツイッターでは「世間の話題を押さえるよう意識している」という。コロナ禍でマスクが品薄になった昨年5月には、マクロをモチーフにしたマスクカバーのペーパーラフトを作成。実際の画像を投稿したところ、5000件を超える「いいね」があった。

担当者は「その日その日の温度感を大切に、タイムリーでユーモアのある投稿を続け、近大に興味を持ってもらうきっかけにしたい」と話す。

「各組織が伝えたターゲットに合ったツイッターを複数選んで発信している。10年後には、今利用しているツイッターやインスタグラムがほとんど利用されていないかもしれない。一方、紙媒体やホームページで発信した情報は残っている。安定性があり、長期的な運用がしやすい。今後もホームページや紙媒体での発信を続けていく。ただ、情報の流しすぎには注意が必要だ。コロナ禍では、オンライン授業の影響で学生に届く情報量が増えている。教職員は学生に与える情報を減らす、学生は必要な情報を自ら取りに行く習慣を付けるなど、相互で工夫している。」

記者の声



北川瑠菜

書棚を見ていて、表紙のイラストが面白いと思った文庫本を思わず手に取っていた。音楽家の細野晴臣氏が旅と音楽について語る「HOSONO百景」

丸善の閉店 本との思わぬ出会い まずは書店訪れてみて

「女の子は本が大好きで、ついでに音楽が好きだ。細野さんの曲が生まれた経緯などが生き生きと描かれ、引き込まれた。書店を訪れなければ、体験できなかったことだ。筑波キャンパスで丸善雄松堂(本社・東京都港区)が運営す

丸善の店頭受け取りからネット販売に切り替わったこともあり、私自身、書店に行くことがほとんどなかった。偉そうなことを言える立場ではない。全国大学生生活協同組合連合会が昨年実施した「大学生生活実態調査」で「1日の読書時間が0

今回、東京の下町で本との出会いを通して、そう実感した。大学の書店では、店員のおすすめの作家やジャンルの紹介コーナーを設置する「ミニフェア」を実施している。12月24日まで語学フェア、就職フェアを開催するという。本との出会いを求めて、まずは書店を訪れることから始めてほしい。

筑波時評

2020年4月以降、大学生・大学院生の生活は一変し、今もまだ元に戻っていない。言うまでもなく長引くコロナ禍の影響である。テレビや新聞で注目されたのは全面的なオンライン授業への移行が学生に与える影響だったように思うが、実は、コロナ禍は学生の学術情報(文献)へのアクセスにも大きな負の影響を与えている。

コロナ禍の文献 アクセスに打撃 オンラインの世界全てでない

このような状況に加え、筑波大では今年10月末に学内の書店3店舗が閉店して冊子体の情報へのアクセスのハードルがより高くなった。附属図書館の開館時間短縮も続いている。意識していないと、オンラインで入手可能な情報だけで「やりくりする癖がついてしまう可能性がある(既にそれが当たり前だと思っている人もいるかもしれない)。皆さんには、オンラインで見える世界が全てというわけではないことをぜひ意識してほしい。

松林麻実子 講師 (図書館情報学)



図書館情報メディア系・講師。慶應義塾大学院文学研究科博士課程単位取得退学。修士(図書館情報学)。専門は、情報行動、学術情報流通。鶴見大講師などを経て、2002年より現職。

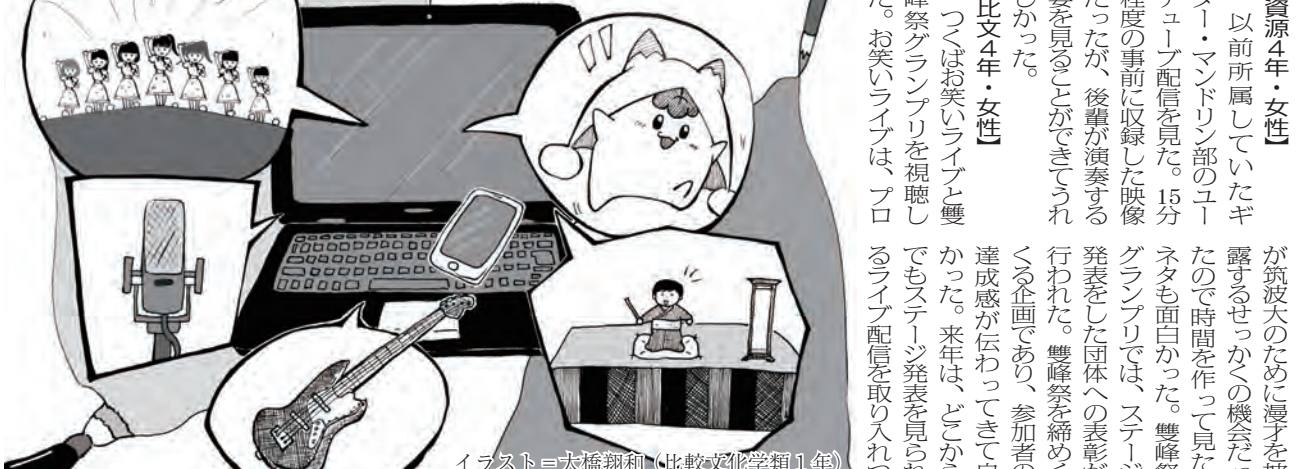
おける学術情報の電子化が諸外国に比べて著しく遅れている点にある。インプレス総合研究所「電子書籍」シネス調査報告書2016によれば、日本の電子書籍の市場規模は米国に次いで世界第2位であるが、ここでいう電子書籍の8割は「コミック」で、学術書とは無縁である。欧米の学術出版社が積極的に電

著作権法がオンライン上での著作物の利用を対象としてきた点にある。著作権法第35条では、教員が授業用資料として使う場合に限り、文献の複製物を作成、配布することを認められている。ただし、これは対面授業における冊子体の配布を想定したもので、複製物の電子的配布(遠隔地での授業への公衆

反射鏡

オンライン雙峰祭どうだった

コロナ禍で昨年は中止された筑波大学学園祭(雙峰祭)が、今年はオンラインで開催された。新たな試みを筑波大生はどのように受け止めたのか。中央図書館前などで聞いた。(細井真生 人文学類2年、大橋翔和 比較文化学類1年、山田優芽 社会学類2年、比嘉悠乃 日本語・日本文学類2年、浅野宏太 社会学類1年)



イラスト＝大橋翔和(比較文化学類1年)

つ、対面で開催してほしい。展示作品のサイトマップは現在の教室がモチーフになっており、オンラインでも臨場感を味わえる工夫をしていたので残念だった。【国際3年・女性】 雙峰祭は主に1、2年生が盛り上がる行事というイメージがあり、3年生の自分にはあまり関係がないと思っていた。知人や後輩が関わっているコンテンツもなく、視聴しなかった。対面なら、ふらっとステージ裏からアーカイブ動画を視聴した。対面開催の時は数人で誘い合って友人の発表を見て回っていた。今回自分からアクセス方法を調べなくてはならず、そこまでやる気になれなかった。例年は、トルコアイスの販売など食べ物に引き付けられるが、今年はそれもなくて残念だった。【3類1年・女性】 中間アストが忙しなくて参加してほしかった。面白い企画もあったかもしれないが、オンラインではお祭りに期待する非日常感が得られず、息抜きにもなりそうになかった。【体育2年・男性】 修士論文が忙しい時期なので、周りでは誰も雙峰祭の話をしていなかった。自分も参加しなかった。対面開催だったとしても参加してほしかった。学業の忙しさに比較的余裕がある春に開催してくれた方が参加しやすい。【心理4年・男性】 開催されることを当日にツイッターで知ったため参加できなかった。後日興味を持った企画をいくつか調べたが、アーカイブが残って見られなかった。雙峰祭で屋台を回るのが好きだった。来年は対面で開催してほしい。

【比文4年・女性】 筑波大のために海外を披露するきっかけの機会があった。以前所属していたギターのバンドの時間を取って見た。15分程度は面白かった。雙峰祭の事前収録した映像をSNSで公開した。後輩が演奏する発表をした団体への表彰が行われた。雙峰祭を締めくくると、参加者の達成感が伝わってきて良かった。来年は、どこからでもステージ発表を見られるライブ配信を取り入れる企画であり、参加者の達成感が伝わってきて良かった。【地球1年・女性】 所属しているダンスグループでは、8月に収録した動画を当日配信した。収録日から配信までに時間差があり、踊った直後に感想をもらえないことがもどかしかった。対面開催の雙峰祭を知らず、オンライン開催が残念という気持ちはないが、観客の歓声などステージ発表ならではの盛り上がりを感じたかった。【情報3年・男性】 関心のあった「筑大奇席」や「ツクバダイ」や「ヒーローショー」は、芸術祭などを見た。オンラインでも作品が見にくくならないようサイトのデザインも工夫が施されていて、素晴らしいと思った。だが、対面開催に比べると、友人とのつながりや盛り上がりという点で物足りなかった。【体育3年・女性】 芸術祭のウェブサイトの構成が入っていると聞いているので、のぞいてみた。所属するアカペラサークルのステージ発表を見るつ

大学院生の力作展示 2年ぶり美術館に彩り MC展

「第37回MC展」が11月16〜21日、茨城県つくば美術館(つくば市吾妻)で開かれた。芸術学位プログラム博士前期課程の学生19人による洋画19点、版画3点、日本画14点が展示された。コロナ禍で昨年度はオンライン開催となり、美術館での開催は2年ぶり。延べ777人が訪れた。

入口正面に展示された太田琴乃さん(芸術P前期2年)の洋画「増殖するエネルギー」は縦261センチ、横

97センチのキャンバスに、木の幹をモチーフにした生命体が増殖する姿が描かれている。青とオレンジを基調とした生命体は、キャンバスから飛び出してきたように見える。太田さんは「記憶や感情などの目に見えないものを表現したかった。絵の具を塗り重ねて記憶が積み重なったように表現したり、それをやりくり削って記憶を掘り返しているように見せたりし、細部にも技巧を凝らした」と狙いを語った。



太田さんの作品(11月17日撮影)は、増殖するエネルギー(縦261センチ、横97センチ)のキャンバスに、木の幹をモチーフにした生命体が増殖する姿が描かれている。青とオレンジを基調とした生命体は、キャンバスから飛び出してきたように見える。太田さんは「記憶や感情などの目に見えないものを表現したかった。絵の具を塗り重ねて記憶が積み重なったように表現したり、それをやりくり削って記憶を掘り返しているように見せたりし、細部にも技巧を凝らした」と狙いを語った。

余統里さん(同1年)の洋画「秘密の部屋」は、人形や玩具の散らかる部屋の隅を蛇やトランプ、幾何学模様などが囲む独特な世界観の作品だ。

余さんは「一人には見せない人間の内面をイメージした。実際に模型の部屋を自分で組み立て、それを参考に描いた」と話した。

同展の運営を担った学生代表の中野桐子さん(同1年)は「企画会議をオンラインで行ったので、他の運営メンバーとの意思疎通がうまくいかなかったこともあった。準備は大変だったが、美術館での開催がかなってよかった」と語った。

今後、展示作品は同展のウェブサイトで掲載される予定だ。サイトのURLは(https://www.geijutsu-tsukuba.ac.jp/motan/)。大橋翔太さん(比較文化学類1年、小栗あおい(社会学類2年))

図画団展2021 49作品が会場に



「買ったのに」(11月6日)は、刺繍を受けた参加者も絵を描いてほしいと思いを込めた。横澤さんの「買ったのに」(11月6日)は、刺繍を受けた参加者も絵を描いてほしいと思いを込めた。

「図画団展2021」が11月6〜7日に5C棟で開催された。筑波大の美術サークル「図画団」のメンバー23人がデジタルイラストや水彩画、折り紙の立体作品など49作品を出展した。昨年度はコロナ禍のため年3回ある対面展示を中止し、ウェブサイトで展示した。学内展示は2年ぶりとなる。

個人が自由に制作した作品28点に加え、特定の色に限定して絵を描く「色しぼり」など四つの企画に基づく作品が展示された。入り口付近には、机の上の模造紙とペンを置いた落書きスペース(横約2メートル、縦約1メートル)が設けられ、団員と来場者のイラストなど

は「あぶくのように生まれては消える心情の変化などを、突発的な動きを多く取り入れることで表現した」と語る。

コロナ禍超えた歓喜を表現

体育館ダンス場でも筑波大生40人が鑑賞した。新型コロナウイルスの影響で開催は2年ぶり。芸術イベントが軒並み中止される中でも、ダンスという芸術により、砂漠のオアシスのように心満たされる場所を届けた。タイトルには、そんな意味が込められた。

ハイライトは、今年8月の「全日本高校・大学ダンスフェスティバル」で文部科学大臣賞を受賞した筑波大ダンス部による九つの創作ダンスだ。

公演は2部構成。第2部二つ目の作品「あぶくの音」は、退屈な日常の中にある面白さがテーマで、安永ひよりさん(体育専3年)が制作した。



公演の最後、踊り手は「歓喜の舞」を披露する。将の清水朱夏さん(同3年)

「あぶくのように生まれては消える心情の変化などを、突発的な動きを多く取り入れることで表現した」と語る。最後を飾ったのは文部科学大臣賞を受賞した「歓喜を歌う騎士」グスタフ・クリムト、ベートーベンの交響曲第9番をもとに描いた壁画「ペーター・ベン・リリーズ」をモチーフに制作した。

「歓喜を歌う騎士」グスタフ・クリムト、ベートーベンの交響曲第9番をもとに描いた壁画「ペーター・ベン・リリーズ」をモチーフに制作した。壁面は「幸福への憧れ」をテーマに、ダンスの動きをモチーフに「歓喜の舞」を披露する。将の清水朱夏さん(同3年)

原皮から羊皮紙作り
人数絞って開催
中世と同じ手法で羊皮紙を作るワークショップ「原皮から始める羊皮紙作り」が11月6日と同日20日に6A棟で開催された。筑波大の学生応援プログラム「TIA」

喜への扉が開き、「騎士」の表情はすっかり明るくなる。ダンスの創作にも携わった清水さんは「コロナ禍の今は、常にも増してつらいことが多い。クリムトの壁画のように、苦境を歓喜に変えて前進したいという気持ちを踊りに込めた」と話す。

「買ったのに」(11月6日)は、刺繍を受けた参加者も絵を描いてほしいと思いを込めた。横澤さんの「買ったのに」(11月6日)は、刺繍を受けた参加者も絵を描いてほしいと思いを込めた。

コロナウイルスの感染防止対策のため、抽選で各回5人に絞ったという。参加した高橋ひかるさん(心理1年)は「制作過程が複雑で、体力や筋力も必要だった。昔の人の苦勞を知ることができた。作った羊皮紙は画材として使いたい」と話した。



11月17日、つくば市春日で

落葉樹の葉が散りはじめた11月。寂しい景色の中に、白や濃いピンク色の華やかな山茶花が現れる。山茶花は椿とよく似ているが、花が終わる時に椿は首から落ちる一方、山茶花は花びらが散る。花びらが落ちていけば山茶花だと分かる。満開の山茶花の枝は葡萄の房のようにたわわに花をつける。一つ一つの花はみな好き勝手な方を向いていて、この無造作な感じが上品な椿にはない山茶花の魅力だと思ふ。(廣間菜月II比較文化学類3年 写真も)

原点 GEN-TEN

現在、私は大学で神経科学の研究をしているが、学生時代からアカデミアの研究者を目指そうと思っていたわけではなく、どこにいてもいい、ごく普通の学生だったと思う。修士課程修了後は製薬企業に就職し、自社製品を販売促進するための研究に携わっていた。だが、大きな論理パズルを解いているような愉悦感、データを出せた時の高揚感が忘れられず、迷った末、大学に戻る決断をした。

また昔と異なり、今ではアカデミア以外でも博士が活躍できる場が増えている。例えば、グローバル展開する製薬企業などで活躍したいなら、博士号は必須である。筑波大での経験が、将来、皆さんの「原点」になってもらえる。筑波大の一教員として、望外の喜びである。

鶴田文憲 助教 (神経科学)



生命環境系・助教。持田製薬研究員として勤務後、東京大学大学院工学系研究科博士課程修了。博士(工学)。スタンフォード大学博士研究員を経て、2009年より現職。

どうする若者の政治離れ



【一面参照】若者の政治離れ、投票率の低下が言われて久しい。だが、これからの日本を中心として支えていくのも若者だ。その意見の反映が政治にも求められる。若者の投票率向上には、どのようなアプローチが必要なのか。投票行動に詳しい教員に話を聞き、若い世代に政治参加を呼び掛ける団体やインターネット投票導入に向け動き出した自治体などを取材した。(天野隼太、北川理菜、比較文化学類、車谷郁美、社会学類、大和祐菜、障害学類、田中千裕、生物学類、太田碧、第2類)

住民票は実家に

19歳が35.04%と、大学生世代での落ち込みが目立つ結果となっている。では、世界各国の若者の投票率はどうか。総務省によると、1967年の衆議院議員総選挙で20代の投票率(抽出調査)は66.69%(全国は73.99%)だったが、その後低下傾向で、2017年の総選挙では33.85%(同年の総選挙では53.68%)にまで落ち込んだ。

今回の総選挙で全国の小選挙区の投票率は55.93%が18歳に引き下げ後に行われた16年と19年の参議院議員選挙で、附属中央図書館に期日前投票所が設けられた。学生の取り組みを応援した。回答数は少ないものの、投票率は51.14%だった。

筑波大では、選挙権年齢が18歳に引き下げ後に行われた16年と19年の参議院議員選挙で、附属中央図書館に期日前投票所が設けられた。学生の取り組みを応援した。回答数は少ないものの、投票率は51.14%だった。

若者の投票率向上については、インターネット投票が期待されている。だが、投票所での投票をインターネット投票にどこからでも投票できる。スマートフォンから投票する若者学園の生徒 = 大澤教授提供



スマートフォンから投票する若者学園の生徒 = 大澤教授提供

注目を集めるネット投票

若者の投票率向上については、インターネット投票が期待されている。だが、投票所での投票をインターネット投票にどこからでも投票できる。スマートフォンから投票する若者学園の生徒 = 大澤教授提供

大学生と政治



大倉沙江助教

大倉助教に聞く

大学生の投票行動には、規制緩和を可能にする国家戦略特区「スーパーシティ」の指定を得た上で、2024年の市長・市議会議員選挙から導入を目指している。

若者が、投票しても自分の生活や社会は変わらないと考えていることも要因で、投票率を下げる要因になっていると考えられる。

若者の日常的に政治を

「NO YOUTH NO JAPAN」は、若者の政治参加を促そうと慶應義塾大学院生の能條桃子さんが2019年に設立し、20年一般社団法人になった。高校生から社会人まで幅広いメンバーが運営に参加している。選挙が「まるで祭り」のようだったという。

7月の参議院議員選挙に合わせた活動を始めた。具体的には「どうして投票しないといけないの」というフレーズにハッシュタグ(＃)をつけて、投票しない若者の意見が政策に反映されないなどと呼びかけた。参院選の期間限定の「日本でも日常的に若者が政治に参加する文化を作りたい」と、留学中の19年

実証実験の対象は生徒会選挙で、並木中等は4年生(高校1年生)約130人、若者学園は全校生徒約1500人が参加した。両校で投票のシステムは少し異なるが、並木中等の場合は、参加した生徒が事前に電子版の身分証明書である「デジタルID」をスマートフォンにインストールし、本人確認後にスマートフォンから投票した。生徒が投票した記録と、投票

先の記事は別々のサーバーに分け、暗号化して管理することで改ざんや情報漏えいを防いだ。若者学園で生徒会の選挙管理委員長を務める5年生(高校2年生)の岡田梨季さんは「紙の投票では集計作業に2時間以上かかっていたが、ネット投票では5分程度で終わった。また候補者名が判読できない疑問票がなくなり、手間が省けた」と話した。

実証実験に協力した大澤義明教授(シス情系)は、ネット投票を活用すれば、年齢層別に投票先を集計することが可能になる点に注目する。「従来の選挙制度では、絶対数が多く投票率も高い高齢者の意見が反映されやすい。年齢層別に集計することで若い世代の意見が見えやすくなる」と語った。

立場をまとめたマスメディアの特設サイトは、投票先を決める参考になる。投票制度は、今後どうあるべきかと考えるかあるべきだと考えるかインターネット投票の導入や郵便投票の対象者の拡大を図るのも一案だ。新型コロナウイルス感染症で宿泊や自宅療養をしている有権者の参政権を保障する目的で、郵便投票の対象が一時的に拡大されたが、さまざまなニーズに対応できるように投票の在り方も多様化させるべきだ。



NO YOUTH NO JAPANは10月の衆院選でもInstagramで情報発信した(12月8日、本紙編集室で) = 細井真生撮影

現在の若者学園の関心が高いジェンダーに関する政策が目されるようになったと感じた。能條さんは「メディアも含め、社会が変わってきている。ただ、選挙期間に一次的に注目を集めるだけでは意味がない。今後も日常的に政治に参加するきっかけを作っていく」と語った。

視覚障害者のためのスポーツ指導

宮本俊和・河合純一 編



B5判並製、250頁、11月19日刊行、4,950円(税込み)。

筑波大は多くの視覚障害者パラリンピアンを輩出している。また、競技指導、スポーツ医学、障害者教育など世界的に類を見ない視覚障害者スポーツ関連の専門家を擁している。本書は、視覚障害者スポーツの指導スキルの継承を目的とした「視覚障害者のパラリンピックスポーツ指導の実践書」だ。第一部

筑波大学出版会 新刊案内

主権者教育で投票率向上

並木中等

7月にインターネット投票の実証実験が行われた並木中等教育では、ネット投票の仕組みや意義に関する授業が事前3回に分けて行われた。つづいては五十嵐立青市長や投票システムの開発を行う企業の担当者などが出張講義した。

初回は主権者教育をテーマに、選挙の基礎知識やネット投票の長所や短所を学んだ。五十嵐市長は、5票の重みや、若者の投票率が低いとその意見が政策に反映されにくくなることなどを学んだ。投票への意識が高まったのではないかと話した。

竹園高校(つくば市竹園)では今年10月、ホームルームの時間に普通科の2年生約240人が主権者教育に取り組んだ。きっかけは、2年生の川畑さん(仮名)が「選挙について学びたい」と提案したこと。

投票率は6組あり、それぞれ「茨城北関党」や「24時間幸せ党」などの政党名を決定した。各組の生徒たちは「消費税・財政」や「子育て・教育」「エネルギー・環境」など10のテーマから関心がある分野ごとに4〜5人のグループを作り、選挙公約を策定した。

投票終了後、川畑さんは参加した生徒や教員にアンケートを実施。生徒31人と教員4人から回答を得た。「選挙への意識は変わったか」という質問に、生徒の19.3%(7人)が「大きく変わった」「少し変わった」と答えた。また、「今マから関心がある分野」という質問に、回答した生徒も前回より増えた。川畑さんは「選挙について学ぶ機会がなかったから、投票率が高くなることを願っています」と話した。

同校の卓間様子教諭は「主体的に生徒から提案が上がり、一つの形ができたことは成果だと思う。なんでも投票するのでなく、ニューから個人に合った適切な運動メニューを自動的に提示します。筑波大はもととスポートの指導教育や研究が盛んなので、ありがたいうちに同じような思いを持って仲間や、研究開発に協力してくれる方々がたくさん集まってください。優秀なエンジニアの採用にも成功したので、試行錯誤しながらも身で未来を創っていくんだ」という意思を持ってから、新しいことを生み出すエネルギーが生まれてくるんだと思います。それに、そっちの方が絶対に楽しいです。いつでもどこでも自分に合った指導を受けられる、そんな未来は自分で発明しないと実現しない。私もそう思っているから、楽しみながら挑戦を続けていけるんだと思います。



「Hello! 先端研究」



出張講義する五十嵐市長(6月22日、並木中等教育学校で) = 天野隼太撮影

「The best way to predict the future is to invent it. (未来を予測する最善の方法は、それを発明することだ)」。これはパーソナルコンピューターの父と呼ばれるアラン・ケイの言葉であり、私の指針です。私は筑波大発ベンチャーとしてSportipを経営しており、なぜ私がこのような挑戦をしているのか。そもそもSportipを立ち上げたきっかけは、高校時代にさかのぼります。

幼い頃からずっと野球をしてきた私の身体には、先天的な疾患がありました。しかし、周囲と同じ練習を続けてきた結果、ついには障害が発生してしまいました。個人の特性に合った指導を受けていけば回避できたにもかかわらず、当時はそうでした。野球を続けられなかったのは、人と違ったときは、人と同じ練習を続けてきたことをすくなく後悔しました。あんなに大好きだったのに、しばらくはテレビで野球を見るのも嫌になっただけです。

同校の卓間様子教諭は「主体的に生徒から提案が上がり、一つの形ができたことは成果だと思う。なんでも投票するのでなく、ニューから個人に合った適切な運動メニューを自動的に提示します。筑波大はもととスポートの指導教育や研究が盛んなので、ありがたいうちに同じような思いを持って仲間や、研究開発に協力してくれる方々がたくさん集まってください。優秀なエンジニアの採用にも成功したので、試行錯誤しながらも身で未来を創っていくんだ」という意思を持ってから、新しいことを生み出すエネルギーが生まれてくるんだと思います。それに、そっちの方が絶対に楽しいです。いつでもどこでも自分に合った指導を受けられる、そんな未来は自分で発明しないと実現しない。私もそう思っているから、楽しみながら挑戦を続けていけるんだと思います。

Hello! 先端研究



田中康平助教

恐竜の王者と聞いて思い浮かぶのはティラノサウルスだろう。全長最大約13メートル、体重約9トンと史上最大級の肉食恐竜だ。だが、彼らの仲間には元々小型種が多く、覇権を握ったのは恐竜時代の最後(白亜紀末期)だった。

恐竜の王者と聞いて思い浮かぶのはティラノサウルスだろう。全長最大約13メートル、体重約9トンと史上最大級の肉食恐竜だ。だが、彼らの仲間には元々小型種が多く、覇権を握ったのは恐竜時代の最後(白亜紀末期)だった。

恐竜の王者と聞いて思い浮かぶのはティラノサウルスだろう。全長最大約13メートル、体重約9トンと史上最大級の肉食恐竜だ。だが、彼らの仲間には元々小型種が多く、覇権を握ったのは恐竜時代の最後(白亜紀末期)だった。

恐竜の王者と聞いて思い浮かぶのはティラノサウルスだろう。全長最大約13メートル、体重約9トンと史上最大級の肉食恐竜だ。だが、彼らの仲間には元々小型種が多く、覇権を握ったのは恐竜時代の最後(白亜紀末期)だった。

ウズベキスタンで新種恐竜

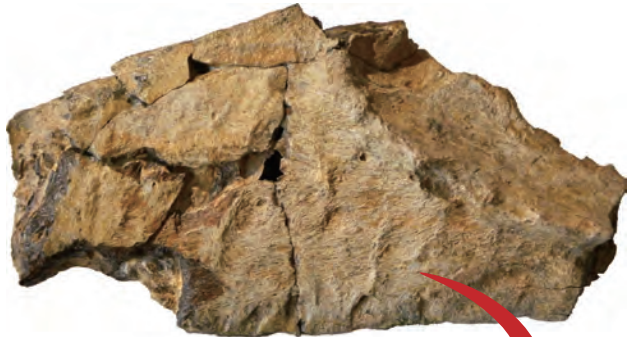
ティラノとの交代劇解く新証拠

これまでの研究によれば、カルカドントサウルス類は最大全長約13メートル、体重は6〜7トン。ティラノサウルスよりやや型だが、獲物の肉を切り裂くのに適したナイフ状の歯を持っていた。ジュラ紀から白亜紀半ばに汎世界的に繁栄し、生

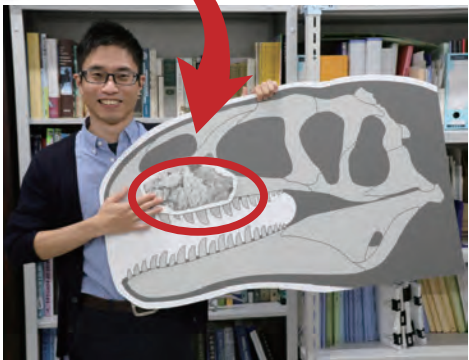
これまでの研究によれば、カルカドントサウルス類は最大全長約13メートル、体重は6〜7トン。ティラノサウルスよりやや型だが、獲物の肉を切り裂くのに適したナイフ状の歯を持っていた。ジュラ紀から白亜紀半ばに汎世界的に繁栄し、生

これまでの研究によれば、カルカドントサウルス類は最大全長約13メートル、体重は6〜7トン。ティラノサウルスよりやや型だが、獲物の肉を切り裂くのに適したナイフ状の歯を持っていた。ジュラ紀から白亜紀半ばに汎世界的に繁栄し、生

これまでの研究によれば、カルカドントサウルス類は最大全長約13メートル、体重は6〜7トン。ティラノサウルスよりやや型だが、獲物の肉を切り裂くのに適したナイフ状の歯を持っていた。ジュラ紀から白亜紀半ばに汎世界的に繁栄し、生



今回確認されたウルグベグサウルスの化石(上)。頭部の頬から鼻面にかけての部分に当てはまる(右)。



(田中助教への取材に基づき作成)

未来は自分が作る

「The best way to predict the future is to invent it. (未来を予測する最善の方法は、それを発明することだ)」。これはパーソナルコンピューターの父と呼ばれるアラン・ケイの言葉であり、私の指針です。私は筑波大発ベンチャーとしてSportipを経営しており、なぜ私がこのような挑戦をしているのか。そもそもSportipを立ち上げたきっかけは、高校時代にさかのぼります。幼い頃からずっと野球をしてきた私の身体には、先天的な疾患がありました。しかし、周囲と同じ練習を続けてきた結果、ついには障害が発生してしまいました。個人の特性に合った指導を受けていけば回避できたにもかかわらず、当時はそうでした。野球を続けられなかったのは、人と違ったときは、人と同じ練習を続けてきたことをすくなく後悔しました。あんなに大好きだったのに、しばらくはテレビで野球を見るのも嫌になっただけです。



起業家

高久 侑也 さん

「世の中を変えるような仕事」には「予測」だけで取り組んでいくことは難しいのではないのでしょうか。今回の新型コロナウィルスのように、予測できないことなんて幾らでも起こり得ますしね。分らないことに不安がるよりも「自分自身で未来を創っていくんだ」という意思を持ってから、新しいことを生み出すエネルギーが生まれてくるんだと思います。それに、そっちの方が絶対に楽しいです。いつでもどこでも自分に合った指導を受けられる、そんな未来は自分で発明しないと実現しない。私もそう思っているから、楽しみながら挑戦を続けていけるんだと思います。

「世の中を変えるような仕事」には「予測」だけで取り組んでいくことは難しいのではないのでしょうか。今回の新型コロナウィルスのように、予測できないことなんて幾らでも起こり得ますしね。分らないことに不安がるよりも「自分自身で未来を創っていくんだ」という意思を持ってから、新しいことを生み出すエネルギーが生まれてくるんだと思います。それに、そっちの方が絶対に楽しいです。いつでもどこでも自分に合った指導を受けられる、そんな未来は自分で発明しないと実現しない。私もそう思っているから、楽しみながら挑戦を続けていけるんだと思います。

4季ぶり大学選手権出場逃す

関東大学対抗戦

【江戸川区陸上競技場(東京都江戸川区)で車谷郁実II社会学類2年、写真も12面に関連写真】関東大学対抗戦が9月12日から12月5日に行われた。筑波大はグループAで3勝4敗(勝ち点14)と8大学中6位に終わり、同グループの上位5校が進出する大学選手権への出場を4年ぶりに逃した。



ラグビー

対抗戦は総当たりで行われ、筑波大は初戦で帝京大と対戦。7-17で敗れるも、



試合終了間際にトライを決めた松島(11月27日、日本体育大戦で)

続く慶應義塾大戦は34-12で快勝した。その後は早稲田大、明治大に連敗したが、青山学院大と立教大に連勝し、3勝

決まる試合。しかし、17-35と敗れた上に、3トライ以上の差をつけたチームに与えられるボーナスポイントも奪われ、大学選手権出場はかなわなかった。

日本体育大は、試合開始直後から留学生選手を中心に、積極的な攻撃を仕掛けてきた。筑波大はSH(スクラムハーフ)の鈴木淳史(体専4年)を中心に、ボールを素早く回して攻撃の流れを作ろうとした。

だが、相手から低い姿勢のタックルを受け、ボールをうまくつなぐことができなかった。前半13分と45分には、キックミスから連続してトライを奪われた。前半終了間際にペナルティゴールで3点を返したが、前半は3-15で終わった。

後半は鼻骨骨折でベンチスタートだった主将の松永貴汰(同4年)が入り、巻き返しを図った。後半21分、ラインアウトからトライを決めた。その後、相手に5トライ目を許し、後がなくなった筑波大は懸命にボールをつなぐ。

後半41分、CTB(センター)川合カイト(同4年)のパスを受けたCTB松島聡(同3年)が相手のディフェンスを交わしてトライ。追いついたものの、17-35で敗れた。松永は自分たちがやりたかった、前に出てプレッシャーをかけたという悔やんだ。

嶋崎達也監督(体育系・助教)は「留学生を中心とした日本体育大の攻撃やタックルに対応しきれなかった。監督として選手の強みを引き出す申し訳ない。今年の反省を来年に生かしたい」と語った。

2戦目は投手陣が奮起し、吉本孝祐(同4年)など4投手の継投で獨協大打線を完封した。打っては、仲井淳人(同3年)が2点本塁打を放つなど3-0で勝利した。

両チーム1勝1敗となって迎えた15日の3戦目は、バッティングが相打ちで、独協大を突き放した。清水は「直球をたたいた。左飛かと思っただが、本塁打になり驚いた」と話した。

先発は10月のドラフトで埼玉西武ライオンズから2位指名を受けた佐藤準輔(同4年)。序盤は打たせて取るピッチングで、3回まで獨協大打線を無安打に抑えた。1回表に安打性の打球を小川柱(同3年)が好捕するなど、守備陣も佐藤の投球を盛り立てた。打線は3回裏、2死二塁

全日本大学女子駅伝20位

7年ぶりの出場

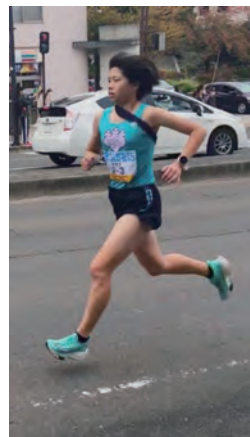
全日本大学女子駅伝対校選手権(杜の都駅伝)が10月31日に仙台市内のコース(6区間、38.1キロ)で行われた。7年ぶりの出場となった筑波大は2時間11分33秒で、オープン出場を含む26チーム中20位に終わった。名城大が2時間2分59秒で、史上2校目の5連覇を果たした。



陸上

筑波大は予選となる9月25日の関東学生陸上競技連盟推薦校選考会で1位となり、本戦出場を決めた。選考会ではチーム6人の5000mの合計タイムで争い、上位4校が本戦出場となる。レースは3組に分かれ、各組に各校2人ずつが出場する。

1組目に出場した澤井柚葉(体専2年)が、この組1位の16分46秒97でゴールしチームに勢いをもたらす



3区で力走する西永=陸上競技部提供

【後輩に引き継ぐことができて嬉しかった」と語り、

川村卓監督(体育系・准教授)は「予想してはいたが、入れ替え戦は苦しい試合ばかりだった。だが、入れ替え戦のおかげで、部員一人一人が弱点に向き合い、危機感を持って野球に取り組めた。その姿勢を忘れないでほしい」と話した。

「ナイスプレー」「いい点取るぞー」。入れ替え戦が行われた3日、ベンチからは常に割れんばかりの声援が送られ、絶対負けられないという気持が伝わってきた。左藤準輔投手(体専4年)は「普段の試合と1点の重

は12分51秒で順位を14位上げた。3区(6.9キロ)は、全国高校駅伝への出場経験を持つ西永菜津(体専4年)が務めた。「緊張よりわくわくする気持ちが強かった」と順位を更に上げた。13位で4区(4.8キロ)の阿部薫(知識3年)についた。阿部は14位に後退し、最長区間の5区(9.2キロ)は高橋にたすきを渡した。高橋は区間20位と振るわず、チームも順位を20位に下げた。最終6区(6.7キロ)の本庄修紀(体専3年)に期待がかかったが、そのままたすきをつないだ。1区を走った榎原は「スタート区間なので、先頭から15秒差以内で走ることを目標にした。日本インカレなどの疲れもあり、良い流れを作ることができなかった」と大会を振り返った。

弓道

男子準決勝敗退

全日本学生王座決定戦が11月20、21日に伊勢神宮(三重県伊勢市)で開かれた。3年ぶりに出場した筑波大男子は、優勝した慶應義塾大を目標にしていた。大会を終え、小坂は「1年間、王座決定戦での優勝を目標にしていた。4年生を優勝させてあげられず悔しい。慶應義塾大戦は力を出したもの、及ばなかった」と振り返った。

また、全日本学生王座決定戦が同22、23日に伊勢神宮で行われ、インカレ王者の筑波大女子は1回戦で西国大に23対27中で敗れた。女子主将の高田実伶(同3年)は「インカレで優勝しており、優勝へのプレッシャーが大きかった。不完全燃焼のまま終わってしまった」と話した。

川村監督は「4年生は、明くる仲が良い反面お互いに厳しく指摘し合っている。それがいい。今まではできていなかった。だが、入れ替え戦までの3週間はかなり厳しく指摘し合っていた。チーム力が上がった」と話した。そして迎えた入れ替え戦。初戦をサヨナラ負けしたことで部内に衝撃が走った。だが、「やるしかない

首都大学野球 筑波大 1部残留

入れ替え戦 崖っぷちからの2連勝



2死二塁で2点本塁打を放ち、勝利に貢献した清水=硬式野球部提供

【サテーターフォー相模原球場(相模原市中央区)で天野隼太II比較文化学類2年】首都大学野球の秋季リーグ1部、2部入れ替え戦が11月13、15日に行われた。筑波大は1部リーグ残留をかけた、2部優勝の獨協大と対戦。初戦を1-2で落として後がない状況に追い込まれたが、2戦、3戦を連勝して1部残留を決めた。

野球

筑波大は2000年秋のリーグ戦から1部に在籍している。入れ替え戦初戦は、9回表、濱内太陽(体専3年)の適時打で同点に追いつくも、9回裏2死二塁の悪い流れを断ち切りたい

2死二塁で清水が公式戦第1号となる2点本塁打を放ち、獨協大を突き放した。清水は「直球をたたいた。左飛かと思っただが、本塁打になり驚いた」と話した。

味方の援護をもらった佐藤は「一心に余裕ができた。絶対点を取らせないという思いで投げた」と、5回以降は無失点で7三振を奪い、4-1で完勝した。この試合が大学野球最後の登板となった佐藤は「4年間で1番苦しい3日間だった。1部残留という形

で後輩に引き継ぐことができて嬉しかった」と語り、川村卓監督(体育系・准教授)は「予想してはいたが、入れ替え戦は苦しい試合ばかりだった。だが、入れ替え戦のおかげで、部員一人一人が弱点に向き合い、危機感を持って野球に取り組めた。その姿勢を忘れないでほしい」と話した。

「後輩のためにも負けられない」

「いつも以上にチームを盛り上げる声掛けをし、積極的に練習に取り組み4年生の姿勢に圧倒された」。清水大海内野手(同3年)はリーグ戦終了から入れ替え戦までの3週間をこう振り返る。

そして迎えた入れ替え戦。初戦をサヨナラ負けしたことで部内に衝撃が走った。だが、「やるしかない

で、戦力が落ちるとは否めない。だからこそ今よりもチーム一丸となり、リーグ優勝に向け練習に励んでいきたい」と来季への意気込みを語る。

新体制のスローガンは「一心」。約150人の部員が心を一つにし、全員野球で挑む来シーズンに期待がかかる。(天野隼太)



1部残留を決め、歓喜に包まれる筑波大ベンチ=硬式野球部提供

最終戦 駒澤大に0-1で敗れる リーグ戦6位で終了



新人賞を受賞した竹内(左) = 筑波大学蹴球部提供

【中台運動公園陸上競技場 千葉県成田市】で細井真生(人文文学類2年)が4月3日から開催されていた関東大学リーグ戦が11月13日に閉幕した。筑波大は最終戦で駒澤大と対戦し、0-1で惜敗した。リーグ戦の成績は9勝2分11敗で、1部リーグの12大学中6位。優勝は、最終戦で明治大に勝利した流通経済大だった。ベストイレブンにミッドフィールダーの山原音吉(体専4年)とフォワードの森海渡(同3年)が、新人賞に竹内崇人(同1年)がそれぞれ選出された。

サッカー
駒澤大は対戦前の時点でリーグ3位につけていた。流通経済大と明治大が引き分け、駒澤大が勝利すれば逆転優勝の可能性も残された中で一戦だった。試合開始22分、森が2人

男子団体準優勝 東海大にまたも及ばず

体重無差別の団体戦で大学日本一を争う全日本学生優勝大会が11月13、14日に千葉ポートアリーナ(千葉市中央区)で行われ、筑波大は男子が準優勝した。女子は5人制の部に出場し、ベスト8に入った。田中航太(体専1年)と戸高淳之介(同1年)が優秀選手に選ばれた。

柔道
調に準決勝へ駒を進めた。国士舘大との準決勝では、1年生の先鋒・田中と次鋒・戸高が連勝し勢いを付けた。大将戦では宗イントを許したものの、1年生2人がそれぞれ試合時間を1分以上残す快勝で、チームも3-1で勝利した。



鹿屋体育大戦の戸高(11月14日、千葉ポートアリーナで) = 北川瑠菜撮影

次鋒千野根有我(同3年)も試合開始3分に大外刈で一本負けした。続く五将・阿部拓馬(同4年)は引き分けだが、中堅・戸高が大本で敗れ、筑波大の準優勝が決定した。その後の副将・長谷川巧(同2年)は裏投げ一本負け、大将・関根聖隆(同4年)は引き分けとなり、0-5と勝ち星をあげることができないまま完敗した。

岡田弘隆監督(体育系・准教授)は「体重無差別の大会で重量級選手を多くそろえる大学に勝つのは難しい。これまで本大会を経験したことのない1、2年生が活躍し、決勝まで進めたことが良かった。柔道は大きな選手をそろえれば勝てるわけではないことを示すためにも、来年こそは重量級の層が厚い東海大に勝ちたい」と話した。

で試合を終えた。12月8日開幕の全日本大学選手権(インカレ)には関東大学リーグから、総理大臣杯で優勝した法政大と、その他のリーグ戦上位6校が出場。筑波大は10月30日の第22節でインカレへ出場を決めていた。

森は駒澤大戦について「押し込まれるのは分かっていたので、少ないチャンスを確実に得点につなげるという気持ちで臨んだ。だが、相手の隙を突くことができなかった。チームが苦しい時に点を奪えるよう、フォワードとして結果にこだわりたい」と話した。

小井土正亮監督(体育系・助教)は、「リーグ上位の駒澤大との対戦は実力を測る絶好の機会でもあった。選手は頑張ってくれたが、力負けをしてしまった」と振り返り、「リーグ戦で活躍した竹内を筆頭に今後が楽しみな1、2年生が多い。彼らにはもっと伸び伸びと積極的にプレーをしてほしい」と話した。

星子 決勝でOB対決制す 「3連覇を目指す」

【福澤航介(生物資源学類2年)】
剣道日本一を決める全日本選手権が11月3日、日本武道館(東京都千代田区)で行われ、前回大会3位で鹿児島県代表の星子啓太(令和2年度体育専門学群卒)が初優勝を果たした。鹿児島県勢の優勝は42年ぶり。筑波大からは、黒川雄大(体専3年)、大谷翔士(同3年)、阿部壮己(同3年)の3選手が出場した。大平は4回戦、黒川と阿部は3回戦まで進出し、3人も優秀選手に輝いた。



二本目のメンを決める星子 = LET'S KENDO 提供

選んだ。今年3月の大学卒業後もつばに残り、筑波大の稽古に参加してきた地域の子供に剣道を教えるアルバイトも始めた。全国高校総合体育大会や全日本学生選手権での優勝など、高校・大学で全国優勝を経験した星子は、「剣道エリート」の道を歩んできた星子にとって苦難の1年となったが、全日本選手権優勝という長年の目標を果たすことができた。それが安定した試合運びにつながり、優勝できたと思う」と話した。

星子は「優勝してよかった。支えてくれた両親や先生方に少しでも恩返しが出来た。全日本選手権3連覇を目指し、挑戦していきたい」と抱負を語った。

スポーツ顔 陸上

曲がったボールの反発を生かして踏み切り、天に向けて跳び上がる。その高さは、車道の信号機に届いてしまうほどだ。170センチの身長は、棒高跳の選手として恵まれていないわけではない。だが、強みである助走スピードを生かした跳躍で、5月05の中学記録と5月51の高校記録を持つ日本陸上界のホープだ。

小学4年生で棒高跳と出会った。地元の群馬県スポーツ協会が実施するアスリート発掘事業「ぐんまスーパーキッズプロジェクト」に応募したことがきっかけだ。「今の体力が知りたい」と軽い気持ちで参加したが、50メートルの記録が良く、棒高跳の適性ありと判定された。

それから、棒高跳専用の室内練習施設「バルア

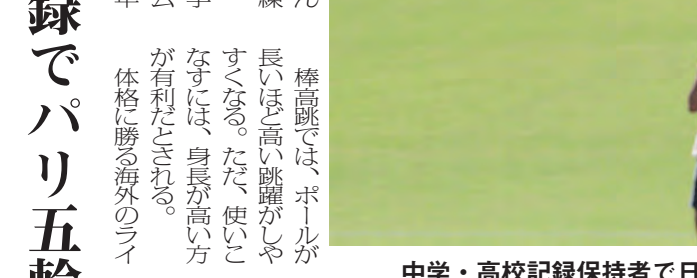
時に全日本中学校選手権を連覇。3年生の2月に5月05の中学記録を樹立し、中学生初の5月ジャンパーになった。練習が「楽しい」と思えたのは小学5年の時。ポールを基礎練習用の竹製からグラスファイバー製に変えたところ、反発が「楽しい」と思えたのは小学5年の時。ポールを基礎練習用の竹製からグラスファイバー製に変えたところ、反発が「楽しい」と思えたのは小学5年の時。

前橋育英高校に進学後の2018年10月には、1年生ながら、ユース五輪出場を果たした。

バルと戦っていきけるか不安も感じたが、「助走スピードを生かして高い反発を得る」自分の強みにこだわって、ユース五輪では5月22と自己記録を更新。銀メダルに輝いた。「身長が低くても跳べることを証明でき、競技人生で一番うれしい瞬間だった」と振り返る。

だが、「記録向上には、もっと長いポールで跳べるようになる必要がある」と考えるようになった。高校2年の5月、5月30と自己記録を伸ばした際に、これ以上の跳躍はポールを長くしないと難しいと感じたから

日本記録でパリ五輪目指す



中学・高校記録保持者で日本インカレ王者

古澤 一生 (体専1年)
それまでは15フィートのポールを使っていたが、16フィート前後の長いポールを使いこなせるよう、筋力や助走の走力

高跳を「楽しむ」気持ちには変わらない。「日本記録(5月83)を更新し、パリ五輪に出場する」という思いを胸に、世界へ羽ばたいていく。(大和祐菜(陸上競技部提供)写真は陸上競技部提供)

筑波山アプリ公開 安全で楽しい登山に向け



アプリでは10コースの登山ルートを選択できる(12月7日、本紙編集室で)＝細井真生撮影

筑波山への登山がもっと楽しく安全になるようにとの狙いで、茨城県と筑波大民間企業が連携して開発したiPhone用の無料アプリ「Mount Tsukuba」が11月1日に公開された。拡張現実(AR)を使った写真撮影が可能で、ハイキング用の登山地図やデジタル登山届も利用できる。開発に参加した筑波大の原忠信准教授(芸術系)は「多くの人にアプリを楽しんでもらいたい。利用者が広がれば、登山者の安全確保にもつながる」と期待を寄せている。(梅津拓人＝比較文化学類3年)

アプリの開発は、茨城県「た三角」が現れ、実際の風景などと一併に記念撮影することが可能。登山届画面では、入山日や登山ルートを選択、連絡先や住所を入力して警察や消防と情報を共有する。登山地図では全10コースから登山ルートを選べる。GPSと連動していることで、利用者は自分がどこにいるかが分かる。

男性山、女性山の山頂付近と登山道10カ所には「Ji-con(小型無線機器)」が設置され、利用者が通過すると、その情報がアプリに記録される。今後、情報を警察や消防に伝えることで、遭難などに対応する際の手がかりにもなる。

アプリには登山整備やアプリ運営のための寄付を受け付ける機能もある。山頂近くの御幸ヶ原では12月19日まで特設テントが設けられ、アプリ利用者にはオリジナル缶バッジなどを配布するサービスも行われている。その後は、中腹にある筑波山グッズショップ「BASE877」でサービスが継続予定だ。

筑波大発ベンチャーでアプリを開発した「フラー」(新潟市、渋谷修太代表取締役会長)の担当者によれば、アプリのダウンロード数や利用者が提出したデジタル登山届の数などを基に、Android版の開発に、

元号の歴史や暦の変遷たどる

附属図書館特別展 資料40点を展示

元号の歴史や暦の変遷などについて資料を紹介する筑波大附属図書館特別展「時を数む」(紀年・暦法・元号)が11月8日から12月3日まで、中央図書館の貴重書展示室で開かれた。元号が「令和」に改元されたことに合わせた企画で、渋川春海が17世紀に作成した日本人による初の暦法書「貞享暦」の写本など筑波大が所蔵する資料を中心に40点が展示された。特別展の対面開催は2年ぶり、延べ9000人が訪れた。

特別展は、附属図書館と人文社会学系が共催した。当初は昨年度に開催予定だったが、コロナ禍で今年度になり持ち越されていた。展示は▽改元に関わる資料や暦を基に元号の歴史を解説した第1部▽一二元をまとめた第3部▽の全3部構成。第3部では、皇紀が日本の植民地だったインドネシアの独立宣言に使われていることも紹介されている。資料の選定や解説、コラムの執筆は人文社会学系



展示の前に立つ山澤学准教授(左)と谷口孝介教授(右)(11月15日、筑波大附属中央図書館貴重書展示室で)

の谷口孝介教授ら教員6人が担当した。新型コロナウイルス感染症対策のため、学生と教職員の間隔を広くするなど、来場者に距離を保つよう工夫されている。展示パネルの配置を工夫できるような資料配置を工夫した。特別展の公式ウェブサイトでは、資料の電子展示が行われ、図録の電子版も公開された。特別展を企画した山澤学准教授(人文学系)による特別公演動画も配信された。

山澤学准教授は「附属図書館の貴重書展示室では、常設展示も行っている。資料も随時入れ替えており、筑波大が誇る所蔵資料を見てほしい」と話した。サイトは、特別展終了後も公開している。URLは <https://www.tuijps.tsukuba.ac.jp/exhibition/2021/>。

留学生の声

中国 荆晓天

「中国に科学的トレーニング広めたい」

朝7時から夜9時まで勉強の日々を送った。中国が定める「国家重点大学」は12校ある。他大学より予算配分が優遇され、研究施設が充実している。

朝7時から夜9時まで勉強の日々を送った。中国が定める「国家重点大学」は12校ある。他大学より予算配分が優遇され、研究施設が充実している。



朝7時から夜9時まで勉強の日々を送った。中国が定める「国家重点大学」は12校ある。他大学より予算配分が優遇され、研究施設が充実している。

朝7時から夜9時まで勉強の日々を送った。中国が定める「国家重点大学」は12校ある。他大学より予算配分が優遇され、研究施設が充実している。

生協の設立要望

全学学類・専門学群・総合学域代表者会議(全代会)は11月10・20日、筑波大の全学類・専門学群・総合学域群生と大学院生を対象に、福利厚生施設の利用頻度や大学生協に関するアンケートを行った。「大学生協の設立を希望する」との問いに約6割が「希望する」(約3割が「希望しない」と答えた。全代会は12月1日に開かれた副学長との懇談会で、大学生協の設立や学生と教職員で作る福利厚生委員会の活性化を要望した。

アンケートはウェブで行われ、▽福利厚生事業を利用しているか▽どの程度利用しているか▽事業者の値上げや撤退で困った事例はあったか などを聞いた。

福利厚生委員会は、教職

も整う、毎年1000万円を超える受験生が合格を目指すと。日々の勉強の成果もあり、2013年9月、国家重点大学のハルビン工業大に進学。だが、入試員と学生委員9人で構成され、福利厚生事業の充実や改善について議論する。委員は任期2年。学生委員は全代会の推薦を踏まえ、その構成員の中から選ばれている。構成員は全て1、2年生だが、構成員でなくなった3年次以降も委員を継続しているケースがある。全代会は今回、任期を1年に改め、全代会構成員が学生委員に多く入ることを要望した。福利厚生委員会と全代会とのつながりを更に強化し、学生の意見を発信しやすくすることが目的だ。

全代会副議長の佐藤翔哉さん(物理2年)は「生協の経営安定には学生・教職員の高い加入率が必要だ。誰が設立の旗振りをするのかなど、課題は多い。しかし、学生のニーズに合ったサービスを提供できるなどの利点もあり、議論を続けていきたい」と話した。(北川瑠菜)

4回目の食料支援
学内農場の米とイモ配る
コロナ禍で困窮する学生が実習授業で田植えや収穫を行ったもの。

同農場の収穫時期にタイミングを合わせたことで、大規模な支援が実現した。支援を受けた比較文化学類4年の女子学生は「体調を崩してアルバイトができず、食費を賄うのが大変だった。米は主食なのでありがたい」と話した。運営にあたった職員は「今回は作物の提供から配布まで学内の部署が連携して準備した。学生が安心して大学生活を送れるよう、今後も状況を見ながらさまざまなサポートを検討していきたい」と語った。(及川千翔)

アンケートはウェブで行われ、▽福利厚生事業を利用しているか▽どの程度利用しているか▽事業者の値上げや撤退で困った事例はあったか などを聞いた。

福利厚生委員会は、教職

も整う、毎年1000万円を超える受験生が合格を目指すと。日々の勉強の成果もあり、2013年9月、国家重点大学のハルビン工業大に進学。だが、入試員と学生委員9人で構成され、福利厚生事業の充実や改善について議論する。委員は任期2年。学生委員は全代会の推薦を踏まえ、その構成員の中から選ばれている。構成員は全て1、2年生だが、構成員でなくなった3年次以降も委員を継続しているケースがある。全代会は今回、任期を1年に改め、全代会構成員が学生委員に多く入ることを要望した。福利厚生委員会と全代会とのつながりを更に強化し、学生の意見を発信しやすくすることが目的だ。

全代会副議長の佐藤翔哉さん(物理2年)は「生協の経営安定には学生・教職員の高い加入率が必要だ。誰が設立の旗振りをするのかなど、課題は多い。しかし、学生のニーズに合ったサービスを提供できるなどの利点もあり、議論を続けていきたい」と話した。(北川瑠菜)

4回目の食料支援
学内農場の米とイモ配る
コロナ禍で困窮する学生が実習授業で田植えや収穫を行ったもの。

雙峰祭 工夫凝らした企画

仮想世界や動画を展開

【一面参照】新型コロナウイルス感染症対策のため、史上初のオンライン開催となった第47回筑波大学園祭(雙峰祭)。これまで対面で開催されてきた企画に代わり、オンラインならではの企画が多々みられた。前例のない中、試行錯誤しながらコンテンツを制作した企画を追った。(中山友明香 生物学類2年、及川千翔)

ゲーム内で雙峰祭再現

オンライン雙峰祭の来場者の投票で決まる「雙峰祭グランプリ」の一般企画部門で特別賞を受賞したのが「マイクラ雙峰祭プロジェクト2021」だ。ブロックを自由に配置して仮想世界を構築できるビデオゲーム「Minecraft」(マイクラ)で、雙峰祭開催中の筑波キャンパスを描いた。特設ページが設けられた石の広場や出店が並ぶ第一、第三エ

リアの様子が11月6、7日の午後3時半から同4時15分まで、YouTubeで生配信された。樹木なども再現され、プロジェクトメンバーがキャラクターを操作して射的を撃つ様子も配信された。生配信の終盤には色とりどりの火花が打ち上げられた。



動画の最後に映る木のセット=芸術祭実行委員会提供

は、春日エリアを含む筑波キャンパス全体の完成を目指す。

コロナ下の思い動画に

雙峰祭で芸術専門学群の

学生の作品展示や販売を行う筑波大学芸術祭の実行委員会は、約1分半のPROMOTIONビデオ(PV)「そして、色になる」をYouTubeとTwitterで公開した。12月8日時点で計726回再生されている。PVはモノクロで始まる。女子学生が6A棟の教室に入る。真っ白なキャンパスが天井から降り注いでいる。女子学生が教室に置かれたペンキの缶にはけを入れ、キャンパスに塗った瞬間、画面は「光の三原色」の赤、青、緑に色づく。この三色は芸術祭のテーマカラーでもある。続いて教室全体が映し出され、キャンパスを葉に見立てた木のセットと「そして、色になる」の言葉とともにPVは終わる。

制作は、同学群の2年生4人が中心になって進めた。例年は、芸術祭1年生が運営するカフェへの参加を通して親睦を深めるが、昨年は中止。同期と交流するために、有志でPVを制作することにした。

セットの設計や組み立て、音楽の作詞・作曲、動画の撮影・編集など全て2年生が担当した。7月に構想を練り始め、完成するまで約3カ月かかった。



ペDESTリアンデッキ「ペDESTリアンデッキ」(名 筑波大学やつくば市中心部を縦断する歩行者・自転車専用道路のこと。北端は筑波大学一の矢学生宿舎で、南端は赤塚公園である。ペデ)

解説

第一エリアと体育・芸術エリアは2階、第二エリアと第三エリアは1階……。これは、各エリアの建物とペDESTリアンデッキが接する階数を指している。外との入り口は1階にあるという先入観は、多くの人に共有。つくばでは慣れないと位置の把握が難しく、新入生は自分が何階にいるのか分からなくなることも多い。

同様の例はつくば駅前でも見られた。百貨店の西武筑波店(つくば市吾妻2017年閉店)の最も大きなエントランスは、ペDESTと接続する2階にあった。総合案内所も、通常1階にあることが多い化粧品売り場も2階だった。一方、一般に「地下」と呼ばれる食料品売り場は、地下ではなく1階にあってため戸惑った人もいたろう。

秋季スポーツ・デー

2年ぶりの対面開催 1600人参加

第45回秋季スポーツ・デーが11月20、21日に陸上競技場などで行われ、延べ約1600人の学生や教職員が参加した。毎年春と秋の2回開かれるスポーツ・デーはコロナ禍のため昨春から3季連続で中止されており、開催は2019年秋以来2年ぶり。例年は約5000人が参加するが、感染対策のため、会場を無観客にするなど規模を縮小して実施された。(及川千翔、写真も)



サッカーを楽しむ学生たち(11月20日、第一サッカー場で)

サッカーやテニス、eスポーツなど計7競技はトーナメントで順位を競った。eスポーツは初採用で、「ニンテンドースイッチ」のゲームソフト「大乱闘スマッシュブラザーズSPECIAL」を使い、3人1組の団体戦が行われた。

スポーツ・デーを運営する学生委員会の企画では、敵陣の旗を奪ったり、ボールを投げて敵を倒したりする「サバイバルゲーム」など計4競技が実施された。学生委員会企画は例年、当日に参加者を募っていたが、今回は参加者数を把握

限って学生委員会企画への当日参加を認めた。開催にあたっては健康観察記録表の確認や会場の検温▽手指消毒▽会場への出入りを選択と審判に限定し、一定の感染対策を徹底した。また、試合間隔を例年の5分から15分に、チームの人数を制限するなど人が集中しないよう工夫した。

eスポーツに出場した佐川漱さん(教育2年)は試合の様子が会場のスクリーンに大きく映し出され、迫りを感じた。

「おわびと訂正」 366号11面「うつ病疑いの学生増加」の記事で、「国立大学保健管理施設協議会・メンタルヘルス委員会」としましたが、正しくは「国立大学保健管理施設協議会・メンタルヘルス委員会」の誤りでした。おわびして訂正します。

文化系サークル館にある和室が活動の舞台だ。稽古は週に2回。水曜日は自主稽古、金曜日は茶道裏千家の先生に稽古をつけてもらう。

稽古を始める前に欠かせないのが、裏千家の茶道の精神を表した「おことば」の唱和だ。10人の部員が正座して唱える。「わたしたちは、茶道の真の姿を学ぶ(中略)お互い人々によっていかされていくことを知る」

「他人を侮ることなく、いつも思いやりが先に立つように」。歌声や三味線に響く音。周囲は他のサークルの活動で生じるさまざまな音



一つ一つの所作に気持ちがこもる(11月17日、文化系サークル会館で)

四季の移ろい感じながら

も茶道の心得を示す言葉で、茶席でお互いが敬い合い、道具や雰囲気も清潔に保つ意味がある。茶道は茶をたてて客をもてなし、片付けのまで、長年の田村瑞希さん(社会学類2年、写真も)

化した益略忌前や基本的な所作で茶道を進める平点前から稽古を始めて所作を身に付けていく。大学で茶道を始めた部長の田村瑞希さん(社会学類2年、写真も)は「おわびと訂正」

Who's Who?

「Panda株式会社」代表取締役

田貝 奈央 さん (知識3年)



パソコンを片手に笑顔を向ける田貝さん＝本人提供

香川高専託開キャンパス(香川県三豊市)の情報工学科4年生だった2019年12月、人工知能(AI)を活用したシステム開発を行う「Panda株式会社」(同市)を起業した。今年4月には、筑波大知識情報・図書館学類に編入学し、学生とスタートアップ企業代表取締役の二足のわらじをはく。

「技術は人を幸せにすると信じている。それを実証していきたい」。熱い思いが原動力だ。現在は拡張現実(AR)グラス(眼鏡)の開発に取り組んでいる。ARグラスを目の前の人に向けて、その人のプロフィールが表示される。例えば、店にお客さんが来た時に、馴染みの店員でなくとも接客がしやすいようになるメリットがある。

社名のPandaは動物のパンダのこと。若者男女たれから愛されるパンダのような存在になりたいという思いと、自分の性格にちなんで命名した。動物園のパンダは、木に登ると降りてこれなくなるという。降りてこれなくなるというイメージを、やろうと思いついたらすぐ行動に移す自分に重なったと笑う。全国の高専生が実力を競う大会に、全国高等専門学校ロボコンテスト(ロボコン)と同プログラミングコンテスト(プログラミングコンテスト)がある。元々はロボコンに興味があり、中学3年時に、実家(徳島県坂野町)からロボコン強豪校の香川高専託開キャンパスの文化祭を訪れた。

「テクノロジーで人を笑顔に」 ARグラスのアプリ開発

なった3年生の時には、プレイヤー同士が手をつなぎ、その動きをカメラに認識させて操作するゲームのシステムを考案。最優秀賞に輝いた。金魚すくいや川下りなど8種類のゲームが楽しめる。手をつなぐアイデアと、プログラミング技術や充実したゲーム内容が評価された。

「夏休みの時間を全てロボコンに注げた。高専に入って良かったことの一つは振返る。19年4月には、ロボコンチームのメンバーとして、三豊市などが設立した一般社団法人みよAI社会推進機構(MAIZM)のオープニングセレモニーに招かれ、AI研究の第一人者である松尾豊・東京大大学院教授と出会った。その後、松尾研究室や東大生が起業したベンチャー企業を見学し、「自分の開発した製品を社会に届きたい」と考えるようになった。松尾教授やMAIZMの後押しもあり、起業に踏み切った。

最終的には廃止されたところまで掲載されています。当時の議論が記事として記録されたことが、30年後の私たちに示唆を与えてくれた。▼編集作業の息抜きには、第365号で「反対射撃での性別表記」について特集しました。記事には、結果だけでなく議論の過程を記録することを心がけました。「すかしゅぎゃル」と同じように、次の世代が私たちが考えたことの跡をたどれるようにしたかったからです。▼来号からは編集部が変わります。過去に学び未来に向けて変わり続ける本紙にこれからもご期待ください。(編集長・大和祐菜(比較文化学類3年) ほか編集部員23人)

次号は
1月31日(月)
発行予定です

編集後記
本紙編集室には、創刊号から紙面を記録した縮刷版があります。編集作業の息抜きには、第365号で「反対射撃での性別表記」について特集しました。記事には、結果だけでなく議論の過程を記録することを心がけました。「すかしゅぎゃル」と同じように、次の世代が私たちが考えたことの跡をたどれるようにしたかったからです。▼来号からは編集部が変わります。過去に学び未来に向けて変わり続ける本紙にこれからもご期待ください。(編集長・大和祐菜(比較文化学類3年) ほか編集部員23人)

編集・発行
筑波大学新聞編集委員会
委員長 土井隆義(人文社会学系・教授) 社会工学系
副委員長 関瑞穂(学生部長) 委員 逸村裕(図書館情報メディア系・教授) 図書館情報学、清水諭(体育系・教授) スポーツ社会学、菅谷純子(生命環境系・教授) 果樹園芸学

水素燃料電池バスでPCR検査



検体の受け付けから40分で検査結果が判明する(11月18日、水素燃料電池バス車内で)＝及川千翔撮影

2面へ

原皮から始める羊皮紙作り



羊の皮を木枠に張る手順を説明する(11月20日、6A棟で)＝太田碧撮影

5面へ

関東大学対抗戦



最後まで体をぶつけて戦い抜いた選手ら(11月27日、日本体育大戦で)＝車谷郁実撮影

8面へ

2年ぶりの秋季スポーツ・デー



キックベースをする女子学生(11月20日、野球場で)＝及川千翔撮影

11面へ

学内総合

学芸

スポーツ

学生生活